

# 令和2年度に向けた我が校の教育ビジョン

作成年月日：令和元年12月12日

伊丹市立笹原中学校

(学級数 14学級、生徒数 421人)

## 1 本年度の取り組み状況(11月末現在)

- (1) 経営理念「学校の主体は生徒 生徒一人一人が輝く学校を作ろう」
- (2) 経営方針「人間力あふれる学校の創造」「前向きで活動的な学校文化」「コミュニティ・スクールを基盤とした地域とつながる学校づくり」
- (3) 経営上の努力点
  - ① 「生徒ファースト」「保護者目線」
  - ② 教育課程の確実な実施「1時間、1時間が勝負」「妥協しない授業」
  - ③ 当たり前のことを当たり前に行っていく(凡事徹底)「教師の率先垂範」
  - ④ 無理のない挑戦(前年踏襲からの脱却)「+1の創造性」
  - ⑤ お互い様の文化(同僚性)の構築「声かけ」「気配り」
  - ⑥ 生徒指導は組織で対応「即連絡・即相談・即報告」「開発的生徒指導」
  - ⑦ コミュニティ・スクールとして、地域の教育力導入・開かれた学校づくり
  - ⑧ 危機管理意識の徹底「事故の予見と安全確保」
  - ⑨ 学校評価、授業評価の活用によるPDCAサイクルの確立・授業改善
  - ⑩ 若手教員が伸びるOJT
- (4) 具体的実践事項(ここまでやってきたこと)
  - ① 学習指導(すべての生徒の学びを支える学習指導)
    - ・教育環境、授業のUD化 → 連絡帳と連絡黒板の連動、掲示物の統一、姿勢の指導、全教室のICT化(デジタルタイマー・電子黒板・プロジェクター・ミニホワイトボードなど)の常時活用、授業規律の徹底
    - ・めあて、振り返りの徹底 → シラバスの提示・配布、サクセスシートの充実、家庭学習とサクセスシートの連動
    - ・授業評価システムの実施 → 1学期末に実施、分析、授業改善に活用
    - ・学習指導案に、キャリア教育の基礎的・汎用的能力を明示(社会とのつながりを意識した授業改善)
  - ② 生徒指導(豊かなつながりを生み出す生徒指導)
    - ・学校全体で統一した生活習慣の徹底 → 残食ゼロ、もくもく清掃、もくもく移動、笹手帳の活用による生活習慣(朝食・睡眠・学習時間など)の改善
    - ・Q-Uを年間2回活用し、ルールとリレーションの確立した学級作りの実践
    - ・各学年複数教員によるローテーション道徳授業の実施、所見の書き方研修
    - ・生徒会活動の活性化 → 月1回生徒会活性化委員会開催、自主的な学校生活改善とリーダー育成、笹中地域ボランティアサポーター制度の充実(年間を見通した組織的・計画的連携)、第2回「笹フェス」(幼・小・中・地域連携事業)の実施
  - ③ 地域連携・校種間連携(ともに育つ双方向のかかわり)
    - ・学校運営協議会(年間5回開催)との協働による学校運営の改善 → 熟議による新しいアイデアの提案、地域ボランティアの授業支援、土曜学習の充実
    - ・HPや学校だより、学年通信、メール配信による積極的な情報発信
    - ・夏季休業中の3校(笹原中・笹原小・摂陽小)合同研修会の実施、テスト1週間前の3校合同共通生活点検週間(朝食・学習時間など)の実施

## 2 めざす学校像

- 「生徒が毎日通いたいと思う学校」「保護者が自分の子どもを通わせたい学校」「地域に貢献できる学校」「すべての生徒が安心して過ごせる居場所のある学校」

### 3 めざす子ども像

- 夢や目標をもち、自ら考え、判断し、主体的に行動・表現することができる生徒
- 人間力（命、気持ち、友だち、実地、自治ができる）のある生徒
- 卒業時に自立できる生徒

### 4 めざす教師像

- 人間力（生徒への愛情・使命感・責任感・チャレンジ精神）を持った教師
- 教育のプロとして、「和」を醸成し、「ワン・チーム」で動ける教師集団
- 生徒、保護者や地域の願いに応える教師

### 5 我が校の特色

#### 学校教育目標

「自ら勉学に励み、自ら心身を鍛え、自ら進路を切り開く

知・徳・体バランスのとれた人間力ある生徒の育成」

- 生徒会を中心に、仲間づくり点検週間に全校で「いいねカード」による互いのよいところを見つけ自己有用感を高める取り組みや、地域のお祭りや公園の落ち葉清掃等のボランティア活動を積極的に行っている。特に昨年度構築した「笹中地域ボランティア制度」を継続し、ボランティアマスターを顕彰している。また、幼・小・中・地域連携の地域文化行事「第2回笹フェス」の企画・運営を笹中生が行った。
- 「みそあじ（身だしなみ・掃除・挨拶・時間を守る）」をスローガンに、自主的な学校生活の改善に取り組んでいる。「残食ゼロ」「もくもく清掃」「もくもく移動」も定着し、「笹中ブランド」になってきている。
- 平成29年度より、毎週水曜日の7校時を活用した数学の教え合い学習「笹トレ」を始めた。3年生が2年生、2年生が1年生を教えている。ラーニングピラミッドにもとづく異学年交流である。教えてもらう側だけでなく教える側にも力がつく取り組みは、笹中の文化「笹中ブランド」として継続していく。

### 6 我が校の研究概要

- アドバイザーとして、伊藤博先生（太成学院大学人間学部教授）を迎え、「生き方を考え、進路実現に向かって学び続けるキャリア教育の実践と検証」をテーマに研究を進めている。学習指導案にキャリア教育の基礎的・汎用的能力を明示することで、社会とのつながりを意識した授業づくりに取り組んでいる。また、hyperQ-Uの分析等の指導・助言も受け、学級づくりに活かしている。  
（令和元年11月29日（金）市教委指定研究発表会を実施し、成果を報告した。）
- 「笹トレ」については、開始時・学期末にアンケートを実施し、分析・改善を行っている。また、毎学期末に授業評価アンケートを実施し、学期ごとの授業改善を図っている。さらに、授業の振り返りの徹底としての「サクセスシート」も2年目となり、家庭学習にもつなげている。
- 若手教員の企画・運営による研修会「ぱんだクラブ」を実施している。（年間5回）

### 7 学力向上に向けた取り組み

#### ①学習規律の徹底

- ・2分前着席、忘れ物ゼロの徹底と正しい姿勢の徹底
- ・毎授業における振り返り「サクセスシート」の徹底と充実

#### ②学習環境の整備

- ・全教室のICT化（デジタルタイマー、プロジェクター、スクリーン、電子黒板、ミニホワイトボードの設置と活用）
- ・無言清掃（もくもう清掃）による清掃の徹底、無言移動（もくもく移動）の徹底
- ・廊下等の観葉植物の設置や歳時記にあわせた掲示物の工夫

### ③数学、英語を中心としたの学力向上策

- ・ 1年生数学での習熟度別学習の実施、2・3年生数学での同室内複数指導の実施
- ・ 全学年英語での週1～3時間同室内複数指導の実施
- ・ 全学年での年間34回の7校時学習（異学年数学教え合い学習「笹トレ」・テスト前教科補充）実施
- ・ 全学年での毎週水曜日の放課後補習の実施
- ・ 保護者や地域との連携による土曜学習の実施（登録者の出席率ほぼ100%）
- ・ 1、2年生はCRT、3年生は全国学力調査の実施と分析
- ・ 漢字検定、数学検定、英語検定の学校実施と推奨

## 8 教職員の勤務時間の適正化に向けた取り組み

- ペーパーレス会議（朝の職員打ち合わせ・職員会議）の徹底
- 毎週水曜日のノー部活デー、ならびに定時退勤日の設定、時刻明示、徹底
- 毎週金曜日はノー会議デーとして明示  
会議開催数を削減するとともに、開始時間等についても見直し
- 各教科や部活動ごとの収納スペースを確保
- 保護者等によるボランティア組織（笹中ハートフルスタッフ）により学校図書館の整備や緑化活動を支援、SSSによる業務の軽減、CSDによるHP作成支援

## 9 今後に向けて

学校の主体は生徒である。一人一人の生徒が輝く居場所がなければならないし、生徒も保護者も「笹中に通いたい・通わせたい」「笹中でよかった」と思える学校をつくらなければならない。その前提は、教師が「生徒ファースト」「保護者目線」で教育活動を見極めることである。また、生徒が輝く居場所を意図的に設定することが不可欠であり、居場所は、授業・行事・部活動において作らなければならない。特に、行事・部活動は、見えない学力の育成に大きな役割を担う。これらは、生徒指導の三機能（自己存在感・共感的人間関係・自己決定）のベースとなる。そして、最終的に、これからの、未来を生き抜く生徒たちに「人間力」を育成していく。

- 1 人間力の育成は、「いのち・きもち・ともだち・じっち・じち」の5つの「ち」をキーワードに育成。「見える学力と見えない学力」のバランスが必要。
- 2 授業は、中学校教師の生命線！プロ教師として、授業改善に努める。その際、授業評価をしっかりと分析し、改善に活かす。また、社会とのつながり（キャリア教育）を意識した授業計画を徹底する。
- 3 行事は、生徒が主体的に取り組めるしかけをスモールステップで設置（事前～事後に至るまで）。3年間を見通した行事計画（バックワードデザイン）の構築。
- 4 部活動は、生徒が主体的に取り組むとともに、継続的な人間関係を学べる場である。他校からも学べる貴重な場である。
- 5 主体的・対話的で深い学びを継続できる教師集団の育成
  - ・ 率先垂範、凡事徹底
  - ・ プロとしての誇りをもつ
  - ・ 言い訳をしない
  - ・ 自分の職務に責任を持つ
  - ・ 創造性の発揮
  - ・ 地域貢献（どんどん地域へ出て顔を覚えてもらう）
  - ・ 常に危機管理意識を持つ
  - ・ 人間味あふれる、愛情のある（感じられる）、子どもを見捨てない教師

伊丹市立笹原中学校 校長 菰口太志

我が校のHPのアドレスは・・・<http://www.sasa.itami.ed.jp/>